

# 令和8年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	学習指導 教育課程	<p>① 共生社会の実現に貢献できる人材の育成に向けて、インクルーシブな学習環境を構築し、協働的な学びを通じた相互理解の深化につながる教育課程の編成や学校行事の精選・充実に取り組む。</p> <p>② 1人1台端末を効果的に活用した個別最適な学びの充実により、総合的な探究の時間の充実を図るとともに、主体的に学ぶ意欲を高め、学ぶ喜びのある授業を実践する。</p>	<p>① 生徒の学習状況および進路実績を踏まえ、インクルーシブな学びを支える教育課程の運用と改善を行い、次年度以降につながる教育活動の質的向上を図る。</p> <p>② 昨年度に整備したICT活用環境を基盤として、授業および総合的な探究の時間における1人1台端末の活用を定着させ、学習の質の向上を図る。</p>	<p>① 単位数配置や科目構成の妥当性を検証し、生徒の進路実現に資する教育課程の改善を進める。</p> <p>② 端末の使用状況やトラブルを把握し、安定した活用環境を維持する。</p> <p>③ 各教科でのICT活用場面を意識した授業づくりを行う。</p>	<p>① 教育課程の運用・改善が、生徒の主体的な学びおよび進路実現の向上に結び付いているか。</p> <p>② 授業や探究活動において、ICT機器が支障なく活用されているか。</p> <p>③ ICT活用が生徒の学習意欲向上や授業改善につながっているか。</p>
2	生徒指導・支援	<p>① 生徒一人ひとりの状況に応じた組織的な指導・支援体制の充実を図るとともに、安心・安全でインクルーシブな学校づくりを推進する。</p> <p>② 学校行事や部活動等の活性化を通して、インクルーシブな人間関係の構築に向けた生徒の主体的な取組みを促す。</p>	<p>① 生徒一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな指導・支援体制の充実と、すべての生徒が安心して学べる環境の整備を更に推進する。</p> <p>② 生徒会本部や各種委員会、部活動等の安心安全な活動を確保し、学習との両立が図れるよう支援していく。</p> <p>③ 生徒の心身の成長とともに主体性・自主性を育み、充実感や達成感を得られるよう、部活動をはじめ委員会活動についても活性化を図っていく。</p>	<p>① 「かながわ子どもサポートドック」の取組を推進し、生徒の状況や課題を適切に情報共有し、ニーズに応じた支援を行う。</p> <p>② 講話等を通して、人権や生命尊重の意識を醸成する。特に交通安全教育において、生徒向けの講座を効果的に計画するとともに、警察や地域と連携して、自転車ヘルメットの着用率向上に努める。</p> <p>③ 生徒会本部役員と生徒会G職員の連携を密にし、足高祭や体育祭をはじめとする諸行事を安全かつ円滑に運営していく。また、安心安全な学校生活の確保に向けて生徒の意識を高め、その発想に基づいた取組みを模索する。</p> <p>④ 部活動の加入率、定着率の向上を図るため、校外への啓発を進めていく。また行事の運営や学校生活の様々な場面における各種委員会の活用を促していく。</p>	<p>① 学年会議やケース会議、SC・SSWとの情報共有や学習環境の整備を通じて、生徒一人ひとりの状況に応じた支援を実施できたか。</p> <p>② 各種講座のアンケート結果等で、生徒の意識の向上が見られたか。ヘルメットの着用率向上が見られるか。</p> <p>③ 生徒会本部役員と生徒会G職員の連携を図りながら、生徒会本部や各種委員会活動、部活動等が安心安全に運営できたか。</p> <p>④ 生徒会活動を通して、生徒の主体性、自主性を引き出し、生徒の充実感や達成感につながることができたか。</p> <p>⑤ 部活動の加入率や定着率の向上、活動の活性化は図れたか。また各種委員会の活用促すことができたか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
3	進路指導・支援	<p>①生徒自身が考え、進路希望の実現に向けた行動をするなど、生徒の主体性を育むキャリア教育を組織的・計画的に実践する。</p> <p>②インクルーシブ教育実践推進校として、生徒一人ひとりの社会接続を実現するために、ていねいな進路支援を行う。</p>	<p>①総合的な探究の時間を活用し、生徒の興味・関心を広げることで学ぶ意欲を向上させ、進路実現のための計画を立てる力を養う。</p> <p>②すべての生徒に対して、自身の目指す進路を実現できるようにガイダンスの充実を図る。特に特別募集の生徒にはていねいな支援を行う。</p>	<p>①総合的な探究の時間では、生徒の身近なものをテーマとすることで積極的な探究活動を促す。また探究計画を立て、見通しをもって活動できるよう支援する。</p> <p>②進路希望調査の結果に基づき、本校生徒の動向をつかみ、それぞれに最適な進路情報を伝達できる体制を整える。</p>	<p>①総合的な探究の時間に積極的な探究活動を行わせることができたか。</p> <p>①探究活動を行うにあたって、計画を立て実践させることができたか。</p> <p>②個々の生徒に適時適切な進路情報を伝えることができたか。</p> <p>②特別募集の生徒には、保護者も含めてていねいな支援を行うことができたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①インクルーシブ教育実践推進校としての本校の取組みを地域に情報発信するとともに、生徒の地域理解・研究と地域貢献を通じ、連携と協働を推進する。</p> <p>②地域防災の推進や情報交換等を通じて、近隣地域との連携を推進する。</p>	<p>①本校の教育活動や特色ある取組みの発信を強化するとともに、学校説明会等の参加者を増やし、入学志願者の増加につなげる。</p> <p>②紙上防災訓練（緊急時避難、DIG）、火災・地震想定避難訓練、帰宅困難生徒対応訓練（避難所開設訓練）を実施する際、近隣地域との関りを深められる内容にする。</p>	<p>①SNSでの発信やWebページの更新等を通して、本校の魅力を最大限アピールできるような広報活動を実施する。</p> <p>①生徒と教職員が協力して、充実した学校説明会等を実施する。</p> <p>②校内の防災関係のマニュアルを整備し、在校生対応のみならず、近隣地域・自治体と連携できるようなメニューを継続していく。</p> <p>②近隣自治体にPTA広報誌の回覧を依頼し、本校の取組みを理解してもらう一助とする。</p>	<p>①SNSでの発信やWebページの更新等の頻度は上がったか。</p> <p>①学校説明会等の参加者や実際の入学志願者は増加したか。</p> <p>②近隣地域との情報交換および連携を十分取れるような訓練等を企画・実践することができたか。</p> <p>②防災避難体制の整備を進めることができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①学校全体で教育環境に対する課題を共有し、校内施設と教育活動のバリアフリー化を進めるとともに、安心・安全な学校づくりを組織的・計画的に推進する。</p> <p>②不祥事防止に努め、実効性の高い組織的な取組みを行う。</p>	<p>①生徒の生活環境を整え、安全でストレスの少ない学校生活を送れるよう、物品、施設面で配慮する。</p> <p>①オフィス改善による職場環境の整備を通じて教職員の働き方改革を行い、ゆとりをもって生徒に対応できる時間を確保する。</p> <p>②不祥事防止研修を継続して実施し、全職員で不祥事根絶に取り組む体制づくりを進める。</p>	<p>①生徒・教職員からの要望を聞き、物品・施設面の管理補充を滞りなく行い、学校生活を支える体制を整える。</p> <p>①新たな学校・家庭間の連絡システム「すぐる」や、ネットバンキングの利用開始などにおける業務アシスタントの一層の活用により、教職員が行う業務の整理と精選を進める。</p> <p>②毎月定期的に不祥事防止研修を行う際、各グループによる発表を取り入れるなど、不祥事防止を自分事としてとらえる機会とする。</p>	<p>①事務室と連携を取り、生活用品の補充や補修を適切に行ったか。</p> <p>①企画会議、グループ・学年会議等を通じて、業務内容や業務遂行手順の見直しを行ったか。</p> <p>②場面に応じた注意点や改善点の共有など、組織的な不祥事防止を実践できたか。</p>